

昇天を認識する 主題と重要なみ言葉	
良き地の超越	申 32:13 エホバは彼に地の高い所を乗って行かせ
昇天の意義	使徒 2:36 こういふわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主またキリストとされたのです。
客観的一面 (客観的事実)	エペソ 1:20 ……彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、
主観的一面 (主観的關係)	エペソ 1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。 ヘブル 4:14 こういふわけで、わたしたちは、天を通って行かれた大いなる大祭司、イエス、神の御子を持っている…
自分が主の昇天 の中にいる	エペソ 2:06 キリスト・イエスの中で、わたしたちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました

良き地の高さは昇天のキリストを表徴する

カナンの地(良き地)は高い地です。多くの山々がある地です。それは少なくとも海拔二千から四千フィートです。それは山の地です。申命記とエゼキエル書は、イスラエルの地が山地であり高地であることを告げる多くの箇所を含んでいます。

カナンの地の一つの側は大海、地中海です。もう一つの側は死海です。このように、この地の両側に海があります。聖書の予表によれば、海は死を予表します。これは、キリストを取り巻いていおるものは死だけであることを意味します！ キリストは死人の中から起され出て来られました！ ですから高い地、山の上の地は、復活したキリスト、昇天したキリストを予表します。彼は、復活させられ、高い所に昇天した方です。彼は高い山です。キリストはイスラエルの山の上の高い地です。彼を除いて、彼以外のものは、すべて死です。(MD 抜粋)



第7週		昇天を認識する	
I	人・救い主の昇天	彼の天の職務に就任する(過程、身分、職務)	
II	主の昇天の客観的な面 (客観的事実)	A	身分: 栄光と尊貴を冠として与えられました
		B	地位: 神の行政のために御座に着きました
		C	職務: 主またキリストとされた
		D	彼が何であるか、彼の身分、地位、職務を認識する
III	主の昇天の主観的な面 (主観的關係)	A-B	すべてを超越する昇天、四重の超越(ハデス、地、空中、もろもろの天)
		C	万物の上にかしらとして召会に(神聖な伝達)
		D	からだである召会のかしらとされました(豊満な表現)
		E	天における大祭司ともされました(顧みととりなし)
IV	わたしたちが主の昇天の中 にいる	A	昇天の時期: 主の昇天から彼の再来まで
		B	主は昇天の中にいるだけでなく、わたしたちの中にもいる
		C	主の昇天の中での行動は神の人の中での行動です

昇天を認識する

聖書：使徒 2:36. ヘブル 2:9, 4:14-15, 7:26, 12:2. エペソ 1:19-23, 2:6

I. 人・救い主の昇天の意義	
意義	使徒 2:36 こういうわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、 神は主またキリストとされたのです。
過程	創造、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を通し
身分	神また人として、創造主また被造物として、贖い主、救い主、命を与える霊
職務	神の行政を執行し、神の新約エコノミーを完成する

I. **人・救い主の昇天**は、彼の職務に就任することであり、それは、**創造、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を通して**であり、**神また人として、創造主また被造物として、贖い主、救い主、命を与える霊として**であり、神の行政を執行し、神の新約エコノミーを完成するためです。

II. キリストの昇天の客観的な面	
身分	ヘブル 2:9 ただ、イエスが 栄光と尊貴 を冠として与えられたことを見ます… 栄光 は、イエスのパーソンに関する輝きです。 尊貴 は、イエスの価値に関する尊さです
地位	ヘブル 12:02 イエスを、ひたすら見つめていなさい。……恥をもいとわないで十字架を耐え忍び、そして 神の御座の右に座しておられる のです。 御座：神がキリストの中で御座に着いているのは、光がともし火の内側から、またともし火を通して輝くのと同じです。 キリストは今や御座の上において、全宇宙で行政を執行しています
職務	使徒 2:36…十字架につけたこのイエスを、 神は主またキリストとされたのです。 彼は主とされた —全宇宙、神の選ばれた民、すべての積極的な物、事、人を所有するため 彼はキリストとされた —神の油塗られた方として、神の使命を完成するため
わたしたちは復活における命と力を持ち、昇天における権威も持ちます。わたしたちは、わたしたちの主と接触するとき、彼が何であるかを認識し、また彼の身分、地位、職務を認識する必要があります： もしわたしたちがこのように知るなら、わたしたちと主との接触は違いを生じます。	

II. わたしたちは、**主の昇天の客観的な面を見る**必要があります：

身分——**栄光**は、イエスのパーソンに関する輝きです。**尊貴**は、イエスの価値に関する尊さです

- A. 主はご自身の昇天によって、**栄光と尊貴を冠として与えられました**——ヘブル 2:9：
1. **栄光**は、**イエスのパーソンに関する輝き**です。**尊貴**は、**イエスの価値に関する尊さ**です——I ペテロ 2:7。
 2. キリストは、**状態**において**栄光**であり、**地位**において**尊貴**です。彼はすべての王や支配者の上にあります。これが彼の尊貴です。

地位——**主は行政のために御座に着きました**

- B. 主はご自身の昇天によって、**神の行政のために御座に着きました**。ヘブル第 12 章 2 節は、キリストが今や神の御座の右に座していると言っています：
1. **神がキリストの中で御座に座しているという事実は、神がキリストの内側から、またキリストを通して全宇宙で行政を執行していることを意味します。それは光がともし火の内側から、またともし火を通して輝くのと同じです**——啓 22:1, 3. 参照、21:23。
 2. **キリストは今や御座の上において、全宇宙で行政を執行しています。彼は唯一の行政執行者、王の王、主の主です。彼は地上の諸王の支配者です**——1:5, 17:14, 19:16。
 3. **キリストが行政を執行することは、宇宙と関係があります。しかし彼が神の新約エコノミーを完成することは、ご自身を増殖し、彼を複製して、召会、彼のからだを建造することです。その結果は新エルサレムです**——参照、使徒 5:31。

職務——**彼は主とされた、彼はキリストとされた**

- C. 「イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、**神は主またキリストとされたのです**」(2:36)。この節の「された」という言葉は、「就任した」を意味すると理解することができます。キリストの昇天において、神はキリストを彼の天の務めに**就任させました**：

1. 人・救い主は、ご自身の昇天において、万物を所有する主とされました。彼は今や、全宇宙、神の選ばれた民、すべての積極的な物、事、人を所有する主です。
2. 人・救い主は、ご自身の昇天において、神の油塗られた方（ヘブル 1:9）としてのキリストとされました。それは神の使命を完成するためです。

***もしわたしたちがこのように知るなら、わたしたちと主との接触は違いを生じます。**

- D. わたしたちは今や、キリストの復活と昇天におけるキリストと一です（エペソ 2:6）。その結果、わたしたちは復活における命と力を持ち、昇天における権威も持ちます。わたしたちは、わたしたちの主と接触するとき、彼が何であるかを認識し、また彼の身分、地位、職務を認識する必要があります。

Ⅲキリストの昇天の主観的な面	
すべてを超越する (四重の超越)	エペソ 1:20-21 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、すべての支配、権威、力、主権、……唱えられるあらゆる名を超越して、はるかに高くされました。 ハデス[陰府](死んだ人々が拘留されている所)、地(墮落した人々が神に敵対して行動している所)、空中(サタンと彼の暗やみの勢力が神に敵対して活動している所)、 <u>すべての天</u> (サタンも行くことのできる所)を超越しました。
万物のかしら (神聖な伝達)	1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を <u>万物の上にかしらとして召会に与えられました。</u> 四重の力の伝達:復活の力、昇天の力、万物を服従させる力、万物を一に帰する力
からだのかしら (豊満な表現)	1:23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。 キリストの超越した伝達と三一の神のすべての <u>豊富な分与</u> は、わたしたちをキリストの <u>豊満</u> とし、神を表現します
大祭司 (とりなし、顧み)	ヘブル 4:14 ヘブル 7:26 彼は神の臨在の中でわたしたちを担い、またわたしたちの <u>すべての必要を顧みます</u> 天において、同時にわたしたちの中で、 <u>わたしたちのためにとりなします</u>

Ⅲ. わたしたちは、主の昇天の主観的な面を見る必要があります——参照、詩 91:1. 雅 4:7-8. 6:10:

神聖なロマンスと昇天の関係 キリストの昇天の召しと昇天の中の生活	
昇天の召し	雅歌 4:8 わが花嫁よ、わたしと一緒に… <u>レバノン</u> から来なさい。 <u>アマナの頂</u> から、 <u>セニル</u> と <u>ヘルモン</u> の頂から、獅子の洞穴、豹の山から見なさい。
レバノン(高い山)	<u>高い山</u> であり、復活の高嶺としての昇天を表徴しています
アマナの頂 「真理」	「真理」を意味し、真理の高嶺を指しています
セニルの頂 「柔らかない武具」	「柔らかない武具」を意味し、敵サタンがすでに打ち破られ、戦いが過ぎ去り、勝利が得られたこと(勝利の高嶺)を表徴します
ヘルモンの頂 「破壊」	「破壊」を意味し、敵の破壊の高嶺を
昇天の生活	雅歌 6:10 <u>夜明けの光</u> のように見え、 <u>月</u> のように美しく、 <u>太陽</u> のように明るく、……

すべてを超越する(四重の超越)——ハデス、地、空中、すべての天を超越しました

- A. キリストは、すべてを超越する彼の昇天において、ハデス [陰府] (死んだ人々が拘留されている所)、地 (墮落した人々が神に敵対して行動している所)、空中 (サタンと彼の暗やみの勢力が神に敵対して活動している所)、すべての天 (サタンも行くことのできる所——エペソ 1:20-21. 4:8-10. ヘブル 7:26. ヨブ 1:6-12 前半. 2:1-6) を超越しました。

- B. キリストは、ご自身の昇天において天を通過して行ったので（ヘブル 4:14）、今や彼は天に
いるだけでなく（9:24）、天より高く（7:26）、すべての天よりもはるかに高いのです（エ
ペソ 4:10）。

万物の上にかしらとして召会に与えられた——神聖な伝達を示します

- C. エペソ第 1 章 19 節から 23 節は、昇天したキリストからわたしたちに対する伝達があるこ
とを啓示しています。22 節は、神はキリストを「万物の上にかしらとして召会に」与えた
と言っています。「召会に」という句は、昇天したキリストから召会、彼のからだに対す
る伝達を示します：

1. 神は、昇天したキリストに、大いなる賜物、すなわち万物の上にある頭首権を与えま
した。神がキリストをかしらとしたのは、召会にです。それは召会に伝達されており、
召会はそれにあずかっています。

四重の力の伝達——復活の力、昇天の力、万物を服従させる力、万物を一に帰する力

2. 20 節から 22 節は、四つの段階において神がキリストの内にその力を働かせたこと
を見せています。第一は、彼を死人の中から復活させたことです。第二は、彼を天上で
神の右に座らせたことです。第三は、万物を彼の足の下に服従させたことです。第四
は、彼を万物の上にかしらとして召会に与えたことです。

からだである召会のかしらとされました——彼の豊満の中で神を表現するため

- D. キリストは彼の昇天において、彼のからだである召会のかしらとされました。それは彼の
豊満の中で神を表現するためです——コロサイ 1:18. エペソ 1:23. 3:19 :

1. かしらとからだは一であり、宇宙的な人を形成します。この神聖な事柄には、空間の要
素も時間の要素もありません。からだは神聖な命において、また神聖な霊においてかし
らと一です。
2. 神聖な観点によれば、わたしたちは昇天したキリストと一であり、彼の昇天はまたわた
したちのもので（2:6）。ここでこの昇天において、わたしたちは彼の豊満において彼
を表現します。超越しているキリストは三一の神の具体化（コロサイ 2:9）であるので、
彼の超越している伝達は三一の神のすべての豊かな分与を含んでおり、それはわたした
ちをキリストの豊満とならせ、彼を表現します（エペソ 1:22-23. 3:19, 8）。

昇天において、大祭司ともされました

——天において諸召会のためにとりなしている大祭司であり、
——諸召会において行動し、それらを顧みている大祭司です

- E. キリストは彼の昇天において、天における大祭司ともされました。彼は神の臨在の中でわ
たしたちを担い、またわたしたちのすべての必要を顧みます。彼は昇天において彼の祭司
の職務に就任しました——ヘブル 2:17-18. 4:14-15. 詩 110:1-4. ヘブル 5:6. 7:26 :

1. 一方でキリストは、天において諸召会のためにとりなしている大祭司です（25-26 節. ロ
ーマ 8:34）。もう一方で彼は、諸召会において行動しそれらを顧みている大祭司です。
啓示録第 1 章 13 節において、キリストは大祭司として描写されています。それは彼の衣
によって、すなわち、足まで垂れた衣である祭司の上服によって示されています（出
28:33-35）。
2. 啓示録第 8 章において、キリストは金の香壇で香をささげる祭司として啓示されていま
す。「もうひとりの御使いが来て、金の香炉を持って祭壇の所に立った。多くの香が彼
に与えられたが、それはすべての聖徒の祈りと共に、御座の前にある金の香壇の上にさ
さげるためであった」（3 節）。

IV. わたしたちは 主の昇天の中 にいる	
昇天の時期	エペソ 2:6 キリスト・イエスの中で、わたしたちを 彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせて くださいました。
	恵みの時代全体は、主の昇天の時期です。主の昇天から彼の二度目の来臨までです。
昇天のキリストがわたしたちの中	コロサイ 1:27 神は彼らに、…知らせたいと願われました…それは あなたがたの内 にいますキリストであり、 栄光の望み です。
	キリストは昇天の中 <small>にいるだけでなく、わたしたちの中にも</small> います
キリストの昇天 <small>の中での行動は、神の人の中での行動</small> です	IIテモテ 4:22 主があなたの霊と共に おられますように。恵みがあなたと共にありますように。
	マタイ 18:20 二人または三人がわたしの名の中へと集められて いる所には、わたしがその中 <small>にいるから</small> である
	霊の中で :主は今日、ご自身の昇天において、わたしたちの霊の中にいます
	召会の中で :わたしたちがキリストの御名の中へと共に集められているときはいつでも、キリストは昇天において、ご自身のすべての肢体と共にそこにいます。これは神の人の中での行動です。
	昇天の中で :三一の神は、わたしたちの中で行動し、この行動はわたしたちの歴史となります。

IV. わたしたちは、**自分が主の昇天の中**にいることを見る必要があります——エペソ 2:6 :

*** 昇天の時期: 主の昇天から彼の再来まで(恵みの時代全体)**

A. 恵みの時代全体は、主の昇天の時期です——1:20。

*** 主は昇天の中にいるだけでなく、わたしたちの中にもいる**

B. キリストは昇天の中にいるだけでなく、わたしたちの中にもいます——コロサイ 1:27。

*** 主の昇天の中での行動は神の人の中での行動です**

C. キリストは依然として、ご自身の昇天において行動しています。彼は、ご自身の昇天において生活し、住み、とどまり、供給し、奉仕し、働き、行動しています:

1. 彼は、ご自身の昇天において、わたしたちの中にいます。こういうわけでパウロは、キリストの昇天において、わたしたちがキリストと共に座していると、わたしたちに告げています——エペソ 2:6。
2. わたしたちの存在の中には、特別なパーソン、すなわち昇天したキリストがいます——コロサイ 1:27. エペソ 2:6。
3. 主は今日、ご自身の昇天において、わたしたちの霊の中にいます——IIテモテ 4:22 前半。
4. 三一の神は、この昇天において、わたしたちの中で行動し、この行動はわたしたちの歴史となります。
5. キリストは三一の神の具体化であり、わたしたちは彼の昇天において、この具体化の一部です——ローマ 8:10. IIコリント 13:5. ガラテヤ 2:20. 4:19. コロサイ 2:9。
6. わたしたちがキリストの御名の中へと共に集められているときはいつでも、キリストは昇天において、ご自身のすべての肢体と共にそこにいます。これは、人の内側における神の行動です——マタイ 18:20. コロサイ 3:1, 3-4. エペソ 1:20. 2:6。

まとめ	
わたしたちは主の昇天の中で生活し奉仕する	
ビジョン	人・救い主の昇天の意義を知る
生活	神聖な伝達を経験し享受する
	大祭司の顧みと、とりなしを経る
奉仕	昇天のキリストの中で共に行動する